

くじの方法を誤って落札者を決定し工事請負契約を締結した件について

1 当該入札の概要

- (1) 発注機関及び入札執行機関
県立橘高等学校
- (2) 工事の概要
 - ア 工事名
橘高校テレビ電波受信障害対策施設改修工事
 - イ 工事箇所
福島市（橘高等学校）
 - ウ 予定価格
3,027,150円（予定価格事前公表）
- (3) 入札年月日
平成21年1月22日（木）
- (4) 入札参加者数
6者（うち、同額でくじとなった者は2者）
- (5) 契約日
平成21年1月27日（火）
- (6) 契約額
2,545,200円

2 原因

郵便入札において同額入札によりくじを行うに当たっては、本来、同額となった入札参加者に対し、工事等請負有資格業者名簿の有資格者コードの番号が小さい順にくじ番号を付番した上で、くじの適用をすべきところ、くじ用に入札書に記載されたくじの数の小さい順にくじ番号を付番してしまったため、誤った者を落札者として決定した。

なお、今回のミスは、入札結果を公表した後、落札者とならなかった入札参加者の指摘により判明したものである。

※ くじの具体的な方法は、裏面のとおり。

【参考資料】

郵便入札における同額入札による「くじ」について

条件付一般競争入札の開札の結果、最低価格、第2番目又は第3番目の入札参加者が複数あり、落札候補者の順位を決定できない場合は、「くじ」によりその順位を決定します。

電子入札におけるくじと同様の次の手順で実施します。

1. 入札書の「くじの数」欄に任意の値を記入
くじを行う場合に備えて、入札書の「くじの数」欄にあらかじめ任意の値（000～999）を記入し提出していただきます。
なお、記入がない場合などは、有資格コードの下3桁の数値が記載されたものとみなします。
2. くじの手順
 - (1) 有資格者コードの小さい者から順にくじ番号（0、1、2…）を付番する。
 - (2) 同額入札の入札書に記載されたくじの数を合算し、その合計額を入札書の数で除算し、余りを算出する。
 - (3) 上記(2)の計算結果による余りと一致した上記(1)のくじ番号の入札参加者を最上位とする。
 - (4) 最上位のくじ番号に1を足したくじ番号の入札参加者を2順位とする。
この場合において、最上位のくじ番号に1を足したくじ番号が存在しない場合には、0のくじ番号の入札参加者を2順位とする。
 - (5) 2順位のくじ番号に1を足したくじ番号の入札参加者を3順位とする。
この場合において、2順位のくじ番号に1を足したくじ番号が存在しない場合には、0のくじ番号の入札参加者を3順位とする。
 - (6) 4順位以下は(5)の規定に準じて順位を決定する。

(例示)

- (1) 有資格者コード順にくじ番号を付番する。

杉妻建設	(100980021)	…………	くじ番号	0
福島建設	(100980142)	…………	くじ番号	1
福島組	(100982293)	…………	くじ番号	2
- (2) くじの数（あらかじめ入札書に記載して提出）

杉妻建設	(072)	合計	(072+123+452=647)
福島建設	(123)		
福島組	(452)	余り	(647÷3=215…余り2)
- (3) 順位
最上位は、余りの2と一致するくじ番号である福島組
2順位は、2+1=3のくじ番号が存在しないので、くじ番号0の杉妻建設
3順位は、0+1=1と一致するくじ番号である福島建設